



2021年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年4月23日

上場会社名 太洋工業株式会社
 コード番号 6663 URL <https://www.taiyo-xelcom.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 細江 美則
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 園部 直孝
 四半期報告書提出予定日 2021年4月28日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 073-431-6311

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績(2020年12月21日～2021年3月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	1,049	0.4	42		94		88	
2020年12月期第1四半期	1,044	7.0	36		35		32	

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 123百万円 (%) 2020年12月期第1四半期 62百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	15.01	
2020年12月期第1四半期	5.51	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	4,901	2,507	50.5
2020年12月期	4,428	2,401	53.5

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 2,473百万円 2020年12月期 2,367百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期		0.00		3.00	3.00
2021年12月期					
2021年12月期(予想)		0.00		3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2020年12月21日～2021年12月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,953	7.0	34		20		24		4.14
通期	4,326	36.2	59		71		53		8.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年12月期1Q	5,910,100 株	2020年12月期	5,910,100 株
2021年12月期1Q	6,182 株	2020年12月期	1,782 株
2021年12月期1Q	5,908,220 株	2020年12月期1Q	5,870,218 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、新型コロナウイルス感染症による国内外経済への影響や金融資本市場の変動等の懸念から、依然として厳しい状況にあるものの、各種政策の効果や海外経済の改善により持ち直しの動きが続きました。

当社グループが属する電子基板業界は、5Gを活用するIoT製品の普及や、新型コロナウイルス感染症対策の中で加速したDX推進によるパソコンやサーバー向けの半導体パッケージ基板及びEV市場の拡大によるパワーモジュール基板の需要の高まりを受け、生産ライン増強への設備投資や次世代材料を用いた基板の開発が活発となっており、堅調に推移しております。

このような経済環境の下、電子基板事業及び鏡面研磨機事業において販売は減少したものの、テストシステム事業及び産機システム事業において販売が増加したことから、売上高は増加いたしました。

これらの結果、連結売上高は1,049百万円（前年同四半期比0.4%増）と、前年同四半期連結累計期間に比べ4百万円の増収となりました。

損益については、鏡面研磨機事業において売上高が減少したことに伴う影響はあったものの、電子基板事業及びテストシステム事業の売上総利益率が上昇したことや、人件費等の販売費及び一般管理費が減少したことに伴う影響により営業利益42百万円（前年同四半期は36百万円の営業損失）、雇用調整助成金等の助成金収入を営業外収益に計上したことにより経常利益94百万円（同35百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益88百万円（同32百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(電子基板事業)

セットメーカー向けの販売はFPCの試作及び量産案件の受注増により増加したものの、医療機器メーカー向けの販売は高性能製品の受注減及びカメラメーカー向けの販売は試作案件の受注減により減少したことから、売上高は減少いたしました。損益については、試作案件の受注増及び歩留まり改善をはじめとした生産効率向上により売上総利益率が上昇したことや、人件費等の販売費及び一般管理費が減少したことに伴う影響により増益となりました。

その結果、売上高588百万円（前年同四半期比3.9%減）、セグメント利益131百万円（同52.9%増）となりました。

(テストシステム事業)

国内市場において検査機の販売は減少したものの、設備投資が回復局面にある中国市場において通電検査機、既販売分の改造案件及びメンテナンスの受注により販売が増加したことから、売上高は増加いたしました。損益については、収益性の高い製品をはじめ高付加価値製品の拡販に努めたことにより黒字転換いたしました。

その結果、売上高252百万円（前年同四半期比9.7%増）、セグメント利益17百万円（前年同四半期は16百万円のセグメント損失）となりました。

(鏡面研磨機事業)

研磨に使用する消耗品及び機械の修理・メンテナンスの受注増により販売は増加したものの、研磨機の販売が減少したことから、売上高は減少いたしました。損益については、売上高減少に伴う影響により損失となりました。

その結果、売上高42百万円（前年同四半期比66.3%減）、セグメント損失9百万円（前年同四半期は5百万円のセグメント利益）となりました。

(産機システム事業)

産業用ロボット関連の販売は減少したものの、製造ラインにおける大型設備案件及び新規商材案件の販売により、売上高は増加いたしました。損益については、仕入販売増による売上総利益率が低下した影響はあったものの、売上高増加に伴う影響により増益となりました。

その結果、売上高165百万円（前年同四半期比121.9%増）、セグメント利益1百万円（同172.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ447百万円増加し、2,797百万円となりました。これは主として、たな卸資産が減少した一方、現金及び預金並びに売上債権が増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ25百万円増加し、2,103百万円となりました。これは主として、投資有価証券の時価が上昇したことにより増加したものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ264百万円増加し、1,137百万円となりました。これは主として、仕入債務が減少した一方、短期借入金が増加したこと及び夏季の賞与引当金を計上したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ103百万円増加し、1,256百万円となりました。これは主として、長期借入金が増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ105百万円増加し、2,507百万円となりました。これは主として、利益剰余金が増加したこと及び投資有価証券の時価が上昇したことによりその他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想については、2021年1月29日公表の「2020年12月期決算短信」からの変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響については、引き続き市場環境は厳しい状況が続くものの、ワクチンや治療薬の実用化が進展するにつれて事態は緩やかに収束に向かうものと見込んでおり、今後、業績動向を踏まえ修正の必要性が生じた場合には、適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,288,749	1,602,557
受取手形及び売掛金	492,544	734,138
商品及び製品	135,899	142,173
仕掛品	299,274	222,599
原材料及び貯蔵品	80,068	76,261
その他	53,776	20,586
貸倒引当金	△284	△440
流動資産合計	2,350,028	2,797,877
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	340,511	334,474
機械装置及び運搬具（純額）	200,006	182,301
土地	893,133	893,133
その他（純額）	23,853	41,001
有形固定資産合計	1,457,505	1,450,910
無形固定資産		
その他	33,221	31,821
無形固定資産合計	33,221	31,821
投資その他の資産		
その他	593,726	626,766
貸倒引当金	△6,090	△6,030
投資その他の資産合計	587,636	620,736
固定資産合計	2,078,362	2,103,468
資産合計	4,428,391	4,901,346

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	159,401	132,347
短期借入金	401,257	655,512
未払法人税等	9,496	16,980
賞与引当金	—	28,404
製品保証引当金	3,612	2,817
その他	299,559	301,418
流動負債合計	873,327	1,137,480
固定負債		
長期借入金	337,891	461,289
長期末払金	137,140	140,006
役員退職慰労引当金	181,045	164,370
退職給付に係る負債	490,027	483,718
資産除去債務	7,100	7,100
固定負債合計	1,153,204	1,256,485
負債合計	2,026,531	2,393,965
純資産の部		
株主資本		
資本金	807,272	807,272
資本剰余金	930,572	930,572
利益剰余金	567,646	638,606
自己株式	△99	△99
株主資本合計	2,305,391	2,376,351
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,806	72,857
為替換算調整勘定	21,190	24,451
その他の包括利益累計額合計	61,996	97,308
非支配株主持分	34,472	33,719
純資産合計	2,401,860	2,507,380
負債純資産合計	4,428,391	4,901,346

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年12月21日 至 2020年3月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年12月21日 至 2021年3月20日)
売上高	1,044,657	1,049,314
売上原価	781,060	743,027
売上総利益	263,597	306,287
販売費及び一般管理費	299,978	263,791
営業利益又は営業損失(△)	△36,381	42,496
営業外収益		
受取利息	441	393
受取配当金	11	4
為替差益	1,033	4,296
受取保険金	162	—
助成金収入	—	50,334
作業くず売却益	501	595
その他	2,249	1,910
営業外収益合計	4,400	57,536
営業外費用		
支払利息	2,476	3,064
債権売却損	677	774
譲渡制限付株式報酬償却	—	1,504
その他	562	144
営業外費用合計	3,716	5,487
経常利益又は経常損失(△)	△35,697	94,544
特別損失		
固定資産除却損	0	—
投資有価証券評価損	2	—
特別損失合計	2	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△35,699	94,544
法人税等	△3,906	8,027
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△31,793	86,516
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	564	△2,168
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△32,357	88,685

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年12月21日 至 2020年3月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年12月21日 至 2021年3月20日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△31,793	86,516
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28,812	32,050
為替換算調整勘定	△2,258	4,677
その他の包括利益合計	△31,071	36,727
四半期包括利益	△62,864	123,244
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△62,225	123,997
非支配株主に係る四半期包括利益	△638	△753

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用の計算については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、当該見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年12月21日 至 2020年3月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子基板 事業	テストシス テム事業	鏡面研磨機 事業	産機シス テム事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	612,587	230,618	127,078	74,372	1,044,657	—	1,044,657
セグメント間 の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	612,587	230,618	127,078	74,372	1,044,657	—	1,044,657
セグメント利益 又は損失(△)	86,314	△16,962	5,641	661	75,655	△112,036	△36,381

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△112,036千円には、セグメント間取引消去等2,702千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△114,739千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年12月21日 至 2021年3月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子基板 事業	テストシス テム事業	鏡面研磨機 事業	産機シス テム事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	588,538	252,895	42,824	165,056	1,049,314	—	1,049,314
セグメント間 の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	588,538	252,895	42,824	165,056	1,049,314	—	1,049,314
セグメント利益 又は損失(△)	131,991	17,629	△9,237	1,805	142,187	△99,691	42,496

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△99,691千円には、セグメント間取引消去等2,694千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△102,386千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。